

原発なくせ抗議行動ニュース

原発ゼロを求めるイレブン
アクション岡山実行委員会

NO. 30
2013.04.05

ブログ：<http://b.kenro.jp/> 連絡先：okakenro@mx1.tiki.ne.jp

電話：086-221-0133 fax：086-221-3595

関電・九電値上げ認可

経済産業省は2日、家庭向け電気料金を関西電力が9.75%、九州電力が6.23%それぞれ値上げすることを認可しました。5月から実施され、家計に大きな打撃となります。両社が政府の認可を伴う本格的な料金引き上げを実施するのは33年ぶり。5月からの新料金では、燃料費上昇などによる値上げも加わり、標準家庭の値上げ額は関電で643円、九電は362円となります。値上げ幅は経済産業省の料金審査を経て圧縮されましたが、割高との指摘を受けていた燃料費は、削減率が関電で1.0%減、九電で2.1%減にとどまりました。(4/3 赤旗)

電力改革で閣議決定 発送電分離・料金自由化図る

政府は2日の閣議で、電力会社から送配電部分を切り離す「発送電分離」や電気料金の全面自由化を柱とする電力改革の方針を決定しました。茂木敏充経済産業相は閣議後の記者会見で「安定供給とコスト削減がきちんと進むかを見ながら改革をすすめる」と述べました。改革は2020年までをめぐりに3段階に分けて実施。これにより広域系統運用機関が15年を目処に設立され、電気小売業への参入全面自由化は16年を目処として実施する。(4/3 赤旗)

原発40年超運転容認へ

原子力規制委員会は3日の定例会で、運転開始から40年を超える原発について、事業者が運転期間の延長を求める場合、原発の劣化状況を把握するための特別点検を実施することを決めた。東京電力福島第1原発事故後の法改定で、原発の運転期間については原則40年とし、審査に基づいて最長20年延長できるとしていますが、規制委員会の方針決定で、原発の60年運転に道が開かれることとなります。(4/4 赤旗)

核燃料再処理工場 10月操業認めず

日本原燃の原発の使用済み核燃料再処理工場（青森県六ヶ所村）について、原子力規制委員会は10月の完成直後には操業を認めない方針を決定した。規制委員会は国の新しい規制基準ができる12月まで、安全確認の審査をしない方針を日本原燃に伝えた。審査に時間がかかることから、年内の操業は難しくなった。(4/4 朝日)